

37. 愛媛県 (Ehime Pref.)

作成者: 大西 剛¹⁾; 協力者: 窪田聖一・太田喬三

作成日付: 2003年2月

今回 ランク	判定 方法	前回 ランク	種 名	現在も安定して発生している 産地 (市町村)	現在減少傾向にある産地 (市町村)	絶滅したと考えられる産地 (市町村)	衰退の経過	減少要因	備考(対策・文献など)
EX	ア	EX	オオウラギンヒョウモン	-	-	北条市, 松山市, 重信町, 面河村など	1960年代にはほとんど見られなくなり, その後全く採集されていない	生息地の草原の手入れが成されなくなり, 丈の高い草種が優占することにより食草が衰亡した	-
EX	ア	EX	ル - ミスジミ	-	-	広見町, 松野町	1958年 - 1967年にかけて採集記録が見られたが, その後全く採集されていない	林道開通による生息地の環境条件の悪化. 食樹のイチイガシの伐採	-
EX	ア	EX	ベニモンカラスジミ	-	-	温泉郡(重信町血ヶ嶺)	1968年まで採集記録が見られたが, その後全く採集されていない	原生林の伐採. 過度の採集と採卵. 採卵による食樹の枯死	1962年愛媛県指定天然記念物
EX	ア	EX	クロシジミ	-	-	久万町	1961年の記録を最後に全く採集されていない	道路改良工事による生息地の環境条件の悪化	-
EX	ア	EX	シルビアシジミ	-	-	新居浜市, 東予市, 北条市, 松山市	1960年代にはほとんど見られなくなり, その後全く採集されていない	河川やため池の堤防の改修や, 草地の管理形態の変化により, ミヤコグサが消滅した	-
EN	ソ	V	ウラナミジャノメ	-	松山市, 野村町, 重信町, 吉田町, 伊予市, 西海町, 五十崎町, 内子町, 大洲市, 保内町	-	元々生息地が局限される種であったが, 1970年代頃から徐々に減少し, 現在確実に生息が確認されている地点はきわめて限定される	雑木林やクリ園など, 生息環境の手入れが行われなくなった	-
EN	ソ	V	シ - タテハ	-	新宮村, 西条市, 松山市, 小田町, 柳谷村	-	平野部から山地帯にかけて広く分布していたが, 1970年代頃より急激に減少し, 現在生息地はきわめて限られている	不明	-
EN	ソ	-	タイワンツバメシジミ	-	宇和島市	-	宇和島市で3頭の採集記録があるのみ	不明	-
EN	ソ, ツ, ナ	V	チャマダラセセリ	-	松山市	重信町, 広田村, 久万町など	愛媛県中予地域を中心に産地が点在していたが, 現在は松山市の右手川上流地域に見られるのみ	食草の生育する日当たりのよい草場が減少した. 採集圧	2002年より飼育幼虫を放したり, 採集制限の看板を出した
EN	ソ	-	ギンイチモンジセセリ	-	新宮村, 面河村	-	年々減少し, ここ数年生息が確認されていない	不明(環境的には大きな変化はない)	-
VU	タ	-	ツマグロキチョウ	-	新居浜市, 西条市, 丹原町, 松山市, 重信町, 久万町, 美川村, 広見町, 松野町, 津島町など	-	1970年代頃より減少し, 確実な山地は上浮穴郡や南予の一部のみとなっている	河川敷や草地等の環境が変わり, 食草が減少した	-
VU	タ	-	オナガシジミ	-	別子山村, 小田町, 柳谷村, 美川村, 野村町など	-	不明	一部地域では過度の採卵により食樹にダメージ	-
VU	タ	-	ウラミスジシジミ	-	伊予三島市	-	1990年代にごく少数の成虫と卵が採集された	もともと生息数が少ない	-
VU	タ	R	スジグロチャバネセセリ	-	西海町	-	西海町鹿島と, 対岸のごく限られた場所のみに生息している	-	西海町産は別亜種として他の日本産と区別される
NT	チ, ト, ス	R	ツマジロウラジャノメ	-	別子山村, 新居浜市, 西条市, 小松町, 重信町, 面河村など	-	四国山地の標高500m以上に, 局地的に生息する	道路沿いの露岩地がコンクリート吹き付けなどをされて, 食草が減少	-
NT	チ, ト	V	ウラギンシジミヒョウモン	-	新宮村, 松山市, 重信町, 久万町, 瀬戸町など	-	丘陵地から山地帯にかけて点々と生息地が知られていたが, 1970年代頃より減少し, 生息地での個体数も少ない	食草のスミレ類の生育する環境が減少	-
NT	チ, ト	R	メスグロヒョウモン	-	新宮村, 関前村, 上浦村, 松山市, 川内町, 美川村, 柳谷村, 肱川町, 大洲市, 広見町など	-	丘陵地から山地帯にかけて点々と生息地が知られていたが, 1970年代頃より減少し, 生息地での個体数も少ない	食草のスミレ類の生育する環境が減少	-
NT	チ, ト	V	オオムラサキ	-	新宮村, 伊予三島市, 西条市, 小松町, 北条市, 松山市, 重信町, 久万町, 肱川町, 大洲市など	-	近年平野部ではほとんど見られなくなった	エノキ, 樹液の出る木の減少	-
NT	チ	R	カラスジミ	-	新宮村, 伊予三島市	-	銅山川に沿った食樹ハルニレの生育地に局地的に分布	ハルニレの生育自体が少ない	-
NT	チ, ト	-	ミヤマカラスジミ	-	西条市, 小松町, 丹原町, 川内町, 重信町, 面河村, 柳谷村など	-	生息地は局地的	林道工事や自然林の伐採などで減少	血ヶ嶺の本種は1962年に県指定天然記念物

1) 〒792-0060 愛媛県新居浜市大生院2133-2 愛媛県総合科学博物館